



Sun™ Management Center 3.5 バージョン 4 Sun Fire™ ハイエン ドシステムご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-6980-10
2004 年 5 月, Revision A

コメントの宛先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、Sun Fire、および Sun Fire Link は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Management Center 3.5 Version 4 Release Notes for Sun Fire High-End Systems
Part No: 817-4036-10
Revision A



目次

ソフトウェアの変更点	1
必須のソフトウェアバージョンとパッチ	2
アドオンソフトウェアの入手	3
マニュアルがある場所	4
判明している制限事項	4
CLI コマンドを使用したホットスワップ操作	4
ドメイン構成リーダーの SAN に接続されたテープドライブの Veritas Netbackup SSO に対する非互換性	5
PDSM が必要とする詳細なエラーメッセージ	5
判明している問題点	6
PCR システムが、フェイルオーバー時に ACTIVATING という間違っただ状態を表示することがある (5010351)	6
テストで問題が起きたとき、PCR の CPU ボード表示で重大アラームが表示されない (5038587)	6
SMS の CLI の addboard 使用後、プラットフォーム表示の更新に時間がかかる (4997917)	6
PDSM 操作後、ハードウェアの概要表示にシステム情報がない (5029899)	7
ドメイン表示に誤ったドメイン ID が表示されることがある (5028738)	7
「ボードの移動」ダイアログに処理の完了が表示されない (5029907)	7
ドメインの DR 操作に関する確認ダイアログボックスが編集可能 (5027103)	8

PCRの「ハードウェア」タブの物理または論理表示でアラームが表示されない (5034791) 8

Sun Fire Linkのダイアログボックスに誤った情報が表示されることがある (4984273) 8

Sun Management Center 3.5 バージョン 4 Sun Fire ハイエンドシ ステムご使用にあたって

この文書には、Sun Fire ハイエンドシステム用の Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェアのバージョン 4 について、次のようなこのリリースに関する情報が記載されています。

- 1 ページの「ソフトウェアの変更点」
- 2 ページの「必須のソフトウェアバージョンとパッチ」
- 3 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
- 4 ページの「マニュアルがある場所」
- 4 ページの「判明している制限事項」
- 6 ページの「判明している問題点」

ソフトウェアの変更点

この節では、Sun Fire 15K/12K システム用 Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェア、バージョン 2 と Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center 3.5 アドオンソフトウェア、バージョン 4 (本リリース) との間の Sun Fire ハイエンドシステム用アドオンコンポーネントの変更点について説明します。

この節で説明している事項はすべて、『Sun Management Center 3.5 バージョン 4 Sun Fire ハイエンドシステムのための追補マニュアル』(Part No. : 817-6975-10) に適用されます。

- Sun Fire ハイエンドシステムファミリの新しい 2 つのモデル、E25K および E20K のサポートを追加。今回のリリースでサポートされているモデル番号は、以下のとおりです。
 - Sun Fire E25K
 - Sun Fire E20K

- Sun Fire 15K
- Sun Fire 12K
- UltraSPARC® IV 中央演算処理装置 (CPU) のサポートを追加
- システム名称を、モデル番号の列記から「Sun Fire ハイエンドシステム」という総称に変更

Sun Management Center 3.5 ソフトウェアの動作に影響を及ぼす可能性のある状況に関する詳細情報については、次の文書を参照してください。

- 『System Management Services (SMS) 1.4.1 ご使用にあたって』
- 『Solaris Release Notes Supplement for Sun Hardware』(使用している Solaris のバージョンのもの)

必須のソフトウェアバージョンとパッチ

表 1 は、本リリースで Sun Fire ハイエンドシステムをサポートするのに必要なソフトウェアバージョンの一覧です。

注 – 本リリースで動的再構成 (DR) を使用する場合は、Sun Fire ハイエンドシステムおよびミッドレンジシステム用の DR アドオンコンポーネントをインストールする必要があります。以前のバージョンの DR アドオンがシステムにすでにインストールされている場合でも、この新しいバージョンをインストールする必要があります。

表 1 必要なソフトウェアバージョン

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
サーバーマシン	Solaris オペレーティング環境	Solaris 8 2/04 Solaris 9 4/04
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.5
	Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.5 バージョン 4
システムコントローラ	Solaris オペレーティング環境	Solaris 8 2/04 Solaris 9 4/04
	System Management Services (SMS)	1.4.1
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.5
	Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.5 バージョン 4

表 1 必要なソフトウェアバージョン (続き)

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
Sun Fire ハイエンドシステムの ドメイン	Solaris オペレーティング環境	Solaris 8、9
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.5
	Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.5 バージョン 4
ワークステーション (コンソール 階層)	Solaris オペレーティング環境	Solaris 8、9
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.5

表 2 は、本リリースで必要なパッチの一覧です。必ず最新バージョンのパッチをお使いください。

表 2 必要なパッチと推奨パッチ

パッチ	パッチ対象	オペレーティング環境
117404	Sun Fire Link 付属の SMS 1.4.1	Solaris 8、9
116164	NAT 付属の Sun Fire Link	Solaris 8
116162	NAT 付属の Sun Fire Link	Solaris 9

パッチは、次の SunSolveSM からダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com>

アドオンソフトウェアの入手

Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 4 アドオンソフトウェアパッケージとマニュアルは、以下のソフトウェアダウンロードサイトに、SunManagementCenter_3_5_SunFire_Supplements_V4_RR.zip という名前の zip ファイルで提供されています。

<http://www.sun.com/software/download/index.html>

「New Downloads」欄に「Sun Management Center 3.5, Enterprise Systems Products Sun Fire Supplements V4」のリストが見つからない場合は、以下の操作を行ってください。

1. 「A-Z Index of All Products」をクリックします。

2. 「S」をクリックします。
3. 下方向にスクロールして、「Sun Management Center 3.5, Enterprise Systems Products Sun Fire Supplements V4」を探し、クリックします。
4. 「Download」をクリックします。
5. 「Download Center」にログインします。
6. 「Accept」をクリックしてライセンス条項に同意し、「Continue」をクリックします。
7. ダウンロードページの指示にしたがって操作します。

マニュアルがある場所

英語および各言語対応のマニュアルは、ダウンロードした zip ファイルの以下のディレクトリにあります。

disk2/image/Additional_Addon_Docs/

判明している制限事項

System Management Services (SMS) 1.4.1 の動作、または動的再構成 (DR) 動作に関してすでに判明している制限事項は、以下のマニュアルに記載されています。

- 『System Management Services (SMS) 1.4.1 ご使用にあたって』
- 『Solaris Release Notes Supplement for Sun Hardware』(使用している Solaris のバージョンのもの)

これらの文書には、Sun Fire ハイエンドシステム用の Sun Management Center 3.5 バージョン 4 アドオンソフトウェアの本リリースに関してすでに判明している制限事項が記載されています。

CLI コマンドを使用したホットスワップ操作

ホットスワップ操作には、Sun Fire ハイエンドシステム用の Sun Management Center 3.5 バージョン 4 アドオンソフトウェアではなく、コマンド行インタフェース (CLI) を使用してください。ホットスワップ操作の詳細については、最新の『Sun

Fire ハイエンドシステム Dynamic Reconfiguration ユーザーマニュアル』、
『System Management Services (SMS) リファレンスマニュアル』、および Sun Fire
システムのご使用のモデルのサービスマニュアルを参照してください。

ドメイン構成リーダーの SAN に接続されたテープドライブの Veritas Netbackup SSO に対する非互換性

使用するテープドライブが、ストレージエリアネットワーク (SAN) に接続されていない場合、この問題による影響はありません。

SAN に接続され、Veritas Netbackup SSO によって使用されている StorageTek テープドライブについては、Sun Management Center 3.5 Sun Fire ハイエンドシステム構成リーダーはその実装に対する互換性がありません。ドメイン構成リーダーは、そのデバイスの状態や位置を変更するコマンドを実行しません。しかし、そのテープデバイスはローカルに接続されるデバイスではなく、SAN に接続されているため、SCSI がリセットされます。この問題の原因は、2つの個別のホストの両方が、一度にオープンされる複数のデバイスを持つ可能性があることに起因しています。

回避策: この問題が発生した場合には、サンのサービス担当に連絡してください。

PDSM が必要とする詳細なエラーメッセージ

PDSM (Platform/Domain State Management) モジュールは、そのエラーメッセージに、不具合の内容とエラー原因を記述する必要があります。

回避策: PDSM モジュールで作業しているときにエラーが表示された場合に、下記のログファイルを参照して動作状態を確認してください。

- /var/opt/SUNWsymon/log/pdsm.log または platform.log
- /tmp/pdsm.log
- コンソールログファイル
- /var/opt/SUNWSMW/SMS のバージョン/adm/platform/messages。ここで、SMS のバージョンは、SMS1.4.1 など動作している SMS のバージョンです。

判明している問題点

この節では、本リリースの時点ですでに判明し、注意を必要とするソフトウェアのバグ、また Sun Fire ハイエンドシステム用 Sun Management Center 3.5 バージョン 4 ソフトウェアの動作に影響を及ぼす可能性のあるソフトウェアのバグについて記載します。

PCR システムが、フェイルオーバー時に ACTIVATING という間違っただ状態を表示することがある (5010351)

何らかの問題が原因でフェイルオーバーが行われなかった場合、プラットフォーム構成リーダー (PCR) システムの表示には、FAILED ではなく ACTIVATING という状態が表示されます。

回避策: SMS の `showfailover` コマンドを使用して、正確な状態を確認してください。

テストで問題が起きたとき、PCR の CPU ボード表示で重大アラームが表示されない (5038587)

CPU ボードに対する `scBTest` テスト状態が FAILED の場合、プラットフォーム構成リーダー (PCR) の CPU ボード表示に重大アラームが表示されません。

回避策: PCR の CPU ボードテーブルで CPU ボードのテスト状態を監視するか、SMS の `showboards` コマンドを使用してテスト状態を確認してください。

SMS の CLI の `addboard` 使用後、プラットフォーム表示の更新に時間がかかる (4997917)

System Management Services (SMS) でコマンド行インタフェース (CLI) から `addboard` 操作を行った後、対応する Sun Management Center のプラットフォーム表示の更新に 10 分かかることがあります。

回避策: プラットフォーム表示の更新に最大 10 分を割り当ててください。

PDSM 操作後、ハードウェアの概要表示にシステム情報が無い (5029899)

PDSM 操作を行った後、ハードウェアの概要を表示すると、システム情報が表示されないことがあります。

回避策: 「詳細」ウィンドウをいったん閉じて、再表示してください。ハードウェアの概要表示に最新のシステム情報が表示されます。

ドメイン表示に誤ったドメイン ID が表示される ことがある (5028738)

アクセス制御リスト (ACL) に、ドメイン ID n とともにスロットのボードを一覧表示したとき、ドメイン表示のドメインからボードを割り当て解除した後でも、そのドメイン ID n が表示されたままになります。

回避策: 正しいドメイン ID を確認するには、ドメイン表示ではなく、プラットフォーム表示を参照してください。

「ボードの移動」ダイアログに処理の完了が表示 されない (5029907)

グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) からボードの移動操作をすると、その後、「ボードの移動」ダイアログで進行状況を追跡することができます。しかし、実際には、処理が成功しても、完了メッセージが表示されないことがあります。

回避策: GUI またはコマンド行インターフェース (CLI) のいずれかを使って、この問題を回避してください。

- GUI - 「ボードの移動」ダイアログを閉じて、「ステータスの表示」ダイアログを開いて、移動操作に関するメッセージを表示します。処理が完了していると、次のようなメッセージが表示されます。

```
No status from the agent.
```

- CLI - SC で次のコマンドを実行して、その出力を見ると、処理が完了したかどうか分かります。

```
% ps -ef | grep moveboard
```

ドメインの DR 操作に関する確認ダイアログボックスが編集可能 (5027103)

ドメインに次の DR 操作を行うと、編集可能な確認ダイアログボックスが表示されません。

- デタッチ、アタッチ
- 割り当て解除、割り当て
- 電源オン、電源オフ

回避策: これらのダイアログボックスの内容を編集しても、SunMC 3.5 の機能がその影響を受けることはありません。「了解」または「取消し」ボタンをクリックしてください。

PCR の「ハードウェア」タブの物理または論理表示でアラームが表示されない (5034791)

プラットフォーム構成リーダー (PCR) の「ハードウェア」タブの物理または論理表示で、アラームに関する情報が表示されません。

回避策: アラーム情報は、次の場所で見ることができます。

- 「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」タブを使用して、PCR モジュールにアクセスします。「CPU ボード」テーブルには、アラーム情報が表示されています。
- 「詳細」ウィンドウの「アラーム」タブを使用して、「アラーム」テーブルにアクセスします。このテーブルに、アラーム情報が一覧表示されています。

Sun Fire Link のダイアログボックスに誤った情報が表示されることがある (4984273)

Sun Fire ミッドレンジシステムで Sun Fire Link グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) を使用すると、予期しない動作が発生する場合があります。「了解」ボタンをクリックしたときに、ダイアログボックスが閉じない、また、ダイアログボックスのステータスメッセージに古い情報が含まれていることがあります。

回避策: 予期しない動作が発生した場合は、GUI ではなくコマンド行インターフェース (CLI) を使用して、最新のステータス情報を入手してください。